

平成 17 年度

日本地理学会賞（奨励賞） 受賞

受賞者

石川 菜央（環境学研究科・D2）

受賞日

平成 18 年 3 月 27 日

受賞理由

本論文は、日本の伝統行事の一つとしてよく知られている宇和島地方の闘牛を取り上げ、詳細なフィールド調査を通じて、いささか行事の性格が異なる宇和島市と南宇和郡との対比という形式をとり、その存続要因に対して、観光化と行事担い手の役割の両面に着目しながら解明・考察を試みた優れた実証的研究と評価できる。とくに、闘牛行事の担い手の中核を成す牛主・勢子・ヒイキの3種類の人々の地域的分布や行事に関わる各々の動機などを克明に調べ、彼ら3者の関係が運営組織内に構築されている点が、きわめてこの行事の存続にとって重要と説いている。従来、ややもすれば観光化に力点を置くこの種の研究が多い中で、伝統行事を支える当該地域内外の人々の交流過程・人間関係や参加する人間個人のレベルにまで踏み込んで地域的背景を探ろうとする筆者の姿勢は、今後地理学の立場からこの分野を追求する際の新たな視点を提示する意欲的な研究と評価できる。

地理学評論 79: viii-ix. より